

31 「想いをかたちに」 出会いの広場

～民間助成金相談～

○開催目的

ボランティア・市民活動団体にとって、活動の充実や発展のために助成金は重要な財源のひとつです。しかし、助成金申請をしてもなかなか獲得することができないという声も聞かれます。

一方、助成団体の方からは、さまざまな団体の話を伺うことで、多様な活動の様子や地域の課題について把握したいという希望も聞かれます。

申請する側、助成をする側と出会い、ゆっくり話してみませんか？民間助成金の情報も展示しています。



○開催日時

2月13日（土）14：30～16：30

2月14日（日）13：00～15：30

○参加者数・出演者・団体

参加者数：28名（参加者10名、出演者14名、スタッフ4名）

出演者・団体：（敬称略・五十音順）

<相談協力団体>

公益財団法人キリン福祉財団、公益財団法人草の根事業育成財団、全労済、公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団、中央労働金庫、東京新聞社会事業団、公益財団法人トヨタ財団、NPO法人日本チャリティプレート協会、BunB東京スポーツ文化館、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド

<資料提供協力団体>

一般社団法人生命保険協会、一般財団法人世田谷トラストまちづくり、一般財団法人セブン-イレブン記念財団、東京厚生信用組合、公益財団法人どうぶつ基金

<企画運営協力>東京都社会福祉協議会民間助成団体部会

○プログラム内容・成果と課題

<プログラム内容>

- 1 助成金の申請に関する相談
- 2 助成金募集に関する展示・資料コーナー

東京都社会福祉協議会民間助成団体部会の会員団体をはじめ、民間助成団体の協力のもと、交流スペースとして、民間助成金の相談コーナーと募集情報コーナーを設け

ました。2日間を通して10の市民活動団体からの相談を、下記の民間助成団体の役職員が個別相談として対応しました。

相談内容は、各助成団体の助成金プログラムの応募要件に関する相談や、申請用紙の記入方法の相談など、具体的なやりとりもありました。また、どのような助成金が自身の活動に適しているかなどの資金全般のことや、申請を検討して



いる事業に対する企画や広報のしかたなど、助成金の相談を切り口にしながら運営や活動の相談へと広がりを見せているときもあり、時間をかけて話し合い、交流しました。

<成果と課題>

日頃は直接話す機会の少ない、多様な活動に取り組む市民活動団体と多様な助成プログラムを実施する助成団体が、それぞれの対象分野や「想い」について話したり、聴いたりしながら、「想いをかたちに」するため、ゆったりと考える時間になったと思います。また、複数の助成団体が一緒に相談にのる場面もあり、助成団体がそれぞれの視点から話していくことで助成団体相互の理解につながるきっかけにもなりました。いろいろな立場の人たちが交流し合うフォーラムとして、この場はNPOと民間助成団体の出会いの貴重な場となっているため、今後も続けていきたいと思っています。

○参加者の声

- ご担当の方と直接コミュニケーションできて、疑問や誤解を解消することができました。
- 大変勉強になりました。
- 助成金について「こんなに基本的なことを聞いてしまってもいいのかな」と最初、不安になりながら来たのですが、きさくな助成団体の方との話を通じて、もやもやとしていた部分がすっと晴れました。

○担当者・記録

《担当》	熊谷 紀良（東京ボランティア・市民活動センター）
	佐藤 亜弓（東京ボランティア・市民活動センター）
《記録》	佐藤 亜弓（東京ボランティア・市民活動センター）